

## 歴史と街づくり活動の経緯

埴の丘住宅団地が完成してすでに二十数年が経過しております。成熟した深い緑の佇まいが、四季折々に豊かな変化に満ちた自然環境を織り成し、住民の心に大きな安らぎを与え、欠かすことのできない日頃の生活の糧となっております。朝夕には、団地内を散策する近隣に人々も見受けられるのは、人々を強力に引き付ける魅力ある住宅環境であることを如実に物語るものです。

当団地は、コーポラティブ方式建設の理念が掲げられて有志が募られ、1978年（昭和53年）1月に建設組合が結成されました。1979年2月には、組合員19名が集合して第1回総会が開催されました。1980年（昭和55年）10月には開発許可が下され、新しい取り組みに意欲を燃やす組合員の並々ならぬ努力の果てに起工式が敢行されました。すでに組合員数は33名に増加していて、その後は順調に建設工事は進行しました。

コーポラティブ方式の理念を尊重して、マンションと同じように敷地（約7500㎡以上）は組合員の共有（各戸で相違した持ち分）とされました。建物の構造は、木質系連棟式となっています。一棟が2戸から5戸で連なっていて、13棟39戸（各戸延べ床面積100～140㎡）の所帯です。理想的な景観を確実に確保するために、電柱は徹底的に排除され、電線やTV回線はすべて地下に埋設されています。

当初から建築協定が結ばれていて、建物の新規の造作においては各戸の調和を重視して、既存の建物の外観を大きく変えないなどの制限が付けられています。生活協定でも、背の高い物置は置かない、むやみに布団を干さない、小動物の飼育については近隣の同意を必要とするなど、環境に配慮した各種の制約が置かれています。

管理組合は、1982年（昭和57年）4月に発足しました。やはりコーポラティブの理念をもとに自主管理を旨とし、何事もあくまで他人任せにしないという自主独立の伝統を築き上げています。1994年4月に管理組合は正式に法人化されました。管理組合は4ブロックから構成されています。各ブロックは、理事会のメンバーたる理事を毎年1～2名選出しています。各理事は理事長、副理事長、自治、植栽、環境、会計の役割に分かれて、運営の責任を公平に負担しています。